



プール事故で技術士が報告書



動画サイズ設定

※動画をご覧いただくには、Windows Media Playerが必要です。  
お持ちでない方は[こちら](#)からダウンロードしてください。

ふじみ野市の市営プールで5年前、小学生の女の子が吸水口に吸い込まれて死亡した事故について、専門家のグループが、プールの設計や工事に問題があったとする報告書をまとめ、ふじみ野市に提出しました。グループは、「裁判などでは『管理責任』が問われたが、安全な設計や工事がなければ事故は繰り返される」と訴えています。この事故は、平成18年7月、ふじみ野市の市営プールで、当時小学2年生の女の子が、柵が外れた吸水口に吸い込まれて死亡したもので、ふじみ野市の当時の担当者2人が業務上過失致死の罪で有罪判決を受けました。事故から5年がたつのを前に、専門家で作る日本技術士会のメンバー3人がふじみ野市の高畑博市長を尋ね、独自に行った調査結果を報告しました。それによりますと、事故の直接的な原因は、吸水口の柵を応急処置で留めていた針金がとれて柵が外れたことでしたが、プールの設計段階の柵を留めるネジの位置が不適切で無理な工事や修理が行われた結果ネジが切れたり腐食したりしていたことが分かりました。またこのプールでは、ポンプ1台に吸水口が1か所の構造ですが、仮に吸水口を4か所に分ければ、吸い込む力が、1か所当たり16分の1程度に減るといふことで、構造上の問題があったとしています。プールの吸水口などに子どもが吸い込まれて死亡する事故は、5年前までの40年間に55件起きていているほか、去年7月には、愛媛県今治市で小学生の男の子が排水口に吸い込まれ一時意識不明になっています。報告書をまとめた日本技術士会の森山哲さんは、「裁判などでは『管理責任』が問われたが、管理責任の追及だけでは事故の真相は見えない。安全な設計や工事がなければ事故は繰り返される」と訴えています。

▶ 次のニュースへ

動画ニュース一覧

**なでしこ5人スポーツ功労賞**  
7月21日 21時26分

**重機窃盗で18億円分被害**  
7月21日 21時26分

**偽札使った疑いで男を逮捕**  
7月21日 21時26分

**土用の丑に「ほうろく灸」**  
7月21日 12時20分

**ゴルフ石川無免許運転で送検**  
7月21日 12時20分

**台風で県内24棟で浸水被害**  
7月20日 19時19分

**プール事故で技術士が報告書**  
7月20日 19時11分

▶ 横浜局の動画ニュースを見る

▶ 千葉局の動画ニュースを見る